

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

チャバネアオカメムシの越冬調査結果（技術情報第16号）について（送付）
このことについて、下記のとおりとりまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

記

概要

本年のチャバネアオカメムシ越冬量は平年より多く、過去10年間で2番目に多い。
本年7月頃までの発生および被害が多くなる可能性が高いため、園地への飛来に注意
する。

1. 目的

チャバネアオカメムシは、これまでの調査で越冬成虫数が多いと7月までの予察灯誘殺数や、被害が多くなる傾向が認められている（図1）。そこで、県内各地のチャバネアオカメムシの越冬成虫数を調査することで、7月までの発生量を予測し、防除対策に資する。

2. 調査内容

(1) 調査時期 平成27年1月～2月

(2) 調査地点 県内16カ所の定点

熊本市（3地点）、宇城市（5地点）、玉名市、山鹿市、菊池市、甲佐町、氷川町、
芦北町、天草市、苓北町

(3) 調査方法

各地点3m²（1m²×3カ所）分の落葉中から脱出したチャバネアオカメムシの
個体数を計数する。

3. 結果の概要

落葉中3m²当たりのチャバネアオカメムシの越冬虫数は、県内16地点で合計21頭
（前年6頭、平年6.6頭）であった。捕獲地点数は、16地点中9地点（前年6地点、
平年5.6地点）であった（表1）。

4. 今後の発生状況等

(1) 平成27年のチャバネアオカメムシの越冬成虫数や捕獲地点数が平年より多く、過去
10年間で2番目に多いことから、本年7月までの予察灯誘殺数が増加し、樹園地へ飛
来する可能性が高いと思われる。

なお、ここで示したデータには、近年発生量や被害が増加傾向にあるツヤアオカメ
ムシの越冬量は含まれていない。

(2) チャバネアオカメムシやツヤアオカメムシは局地的に飛来し、被害をもたらすこと
があるので、定期的に園を見回り早期発見に努める。

(3) チャバネアオカメムシおよびツヤアオカメムシに関する予察灯およびフェロモントラップの誘殺データを、病害虫防除所のホームページに4月以降随時掲載するので、この情報を参考に適期防除等の対策を行う。(http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/)

表 1. チャバネアオカメムシの越冬数 (頭/3㎡)

調査年 調査地点	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	平年値
熊本市河内町①	0	2	0	0	1	0	1	0	1	1	0	
熊本市河内町②	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熊本市植木町	0	3	1	0	1	0	1	1	3	1	2	
宇城市三角町①	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	
宇城市三角町②	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
宇城市不知火町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
宇城市松橋町	0	1	0	1	0	1	0	0	2	1	0	
宇城市豊野町	1	3	1	0	0	0	1	0	1	1	1	
玉名市天水町	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	
山鹿市蒲生	0	6	1	0	1	1	2	0	2	1	5	
菊池市玉祥寺	0	2	0	0	0	1	0	0	2	0	2	
甲佐町西寒野	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
氷川町大野	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
芦北町田浦	1	2	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
天草市本渡町	1	19	0	0	2	0	1	1	1	0	5	
苓北町内田	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
越冬数合計	4	43	4	2	9	4	9	4	13	6	21	6.6
捕獲地点数	4	12	4	2	7	4	8	4	8	6	9	5.6

注) 平年値は、過去10年間のうち最多の年(H18)と最少の年(H20)を除く8年の平均値。

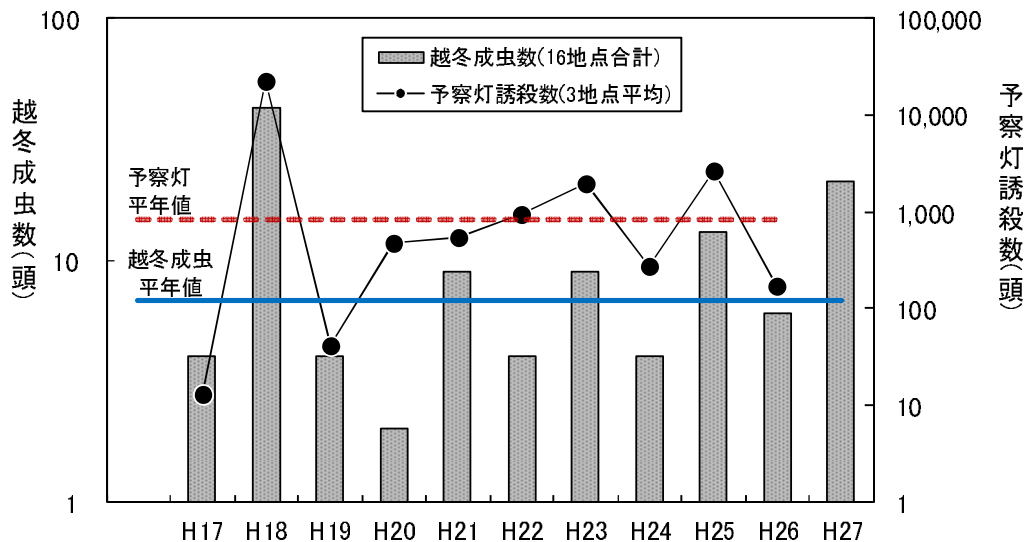


図 1. チャバネアオカメムシの越冬成虫数と前期予察灯誘殺数の推移

- ※「越冬成虫数」は、各3㎡調査した16地点の合計頭数を対数表示(棒線-左縦軸)した。
- ※「予察灯誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した予察灯の、4月から7月までの累積誘殺数を平均し、対数表示(折線-右縦軸)した。
- ※「平年値」は、過去10年間のうちH18年とH20年を除く8年の平均値。

熊本県病害虫防除所
担当：清永
Tel 096-248-6490
FAX 096-248-6493